

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 子ども支援センターワーク | | | | 公表日 | 2025年 3月 15日 |
|---------|----|--|----|-----|----------------------------|----------------------------|--------------|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4 | 0 | ・十分なスペースあると思います。 | ・なるべく広い場所になるように工夫しています。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | 0 | ・行っています。 | ・継続します。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | 0 | ・フロアの色分けで分かりやすい。 | ・継続します。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 4 | 0 | ・なっています。 | ・継続します。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | 0 | ・なっています。 | ・継続します。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 4 | 0 | ・意見を聞いてくれる、改善してくれます。 | ・幅広く改善できるように努めます。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 0 | ・業務に移行しています。 | ・継続します。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 0 | ・会議で意見を聞いてくれます。 | ・継続します。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 0 | ・必要かどうか分かりません。 | ・検討します。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 4 | 0 | ・様々な研修を実施しています。 | ・継続します。 | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 4 | 0 | ・プログラムをスタッフ間で話し合いして行っています。 | ・継続します。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 4 | 0 | ・保護者の意見を良く聞いてくれます。 | ・継続します。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 4 | 0 | ・情報共有をしています。 | ・継続します。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 4 | 0 | ・共有しています。 | ・継続します。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | 0 | ・必要に応じて様々なサービスを提供しています。 | ・継続します。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | 0 | ・実施しています。 | ・継続します。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 4 | 0 | ・スタッフ間で話し合いして行っています。 | ・なるべくスタッフの負担を減らすように努めたいです。 | |

| | | | | | | |
|--|--|--|---|----------------------|--|---|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 4 | 0 | ・活動を決めるときにスタッフ同士で決めて、実施しています。 | ・継続します。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 4 | 0 | ・作成しています。 | ・継続します。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | 0 | ・毎朝に行っています。 | ・継続します。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 4 | 0 | ・その日の出来事をスタッフ間で共有しています。 | ・継続します。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4 | 0 | ・毎日改善しています。 | ・継続します。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 4 | 0 | ・保護者と子どものモニタリングで見直ししています。 | ・継続します。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 4 | 0 | 旧ガイドラインの「4つの基本活動」より今のガイドライン「5領域」が中心では？ | 「5領域」を個別支援計画の中心に据え、4つの基本活動も考慮して、支援を行なっています。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。 | 4 | 0 | ・子どもたちに選べるように工夫している。 | ・継続します。 |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 4 | 0 | ・場合によって何人のスタッフで参加しています。 | ・継続します。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 0 | ・連携を行っています。 | ・継続します。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 4 | 0 | ・学校の先生による情報共有してくれそうです。してくれない学校まだある。 | ・浜松市教育委員会の協力も得ながら、進めていきます。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 4 | 0 | ・情報を中々来ない。 | ・相談支援事業所に動いてもらいます。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 4 | 0 | ・希望者がいれたいです。今までいませんでした。 | ・相談支援事業所に動いてもらいます。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 4 | 0 | ・難しいと思います | ・児童発達支援センターの体制が整うまで待ちます。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 2 | 2 | ・時間と関係で企画するのが難しいです。 | ・我々の事業所は多くの学校から集まっており、他校との交流は既に図られています。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 4 | 0 | ・時間の関係で参加しにくいです。 | ・協議会の開催時間に課題があり、参加は難しい。議事録で活動を確認していきます。 |
| 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 4 | 0 | ・持っています。 | ・より意思疎通をはかって行きましょう。 | |
| 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 2 | 2 | ・どんなことができるのが不安と不明です。 | ・ペアレントトレーニングの実施状況を調べます。 | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 4 | 0 | ・行っています。 | ・現状維持します。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 4 | 0 | ・子どもや保護者に寄り添って支援しています。 | ・より一層、意向を確認しながら支援します。 |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 4 | 0 | ・同意しています。 | ・意向を踏まえた計画に、同意してもらえよう努めます。 |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|-----------|--------------------------------|---------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 4 | 0 | ・子育て支援でインフォーマルサービスをしました。 | ・インフォーマルな情報も提供していきます。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 2 | ・どこまでできるのが不安です。 | ・父母の会の設立自身が難しい中、保護者間の交流方法などは検討していきます。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 4 | 0 | ・適切に対応しています。 | ・適切に対応できる体制整備に努めています。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 4 | 0 | ・活用しています。 | ・現在の仕組みを活用して、子どもや保護者に伝わるように努めます。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | 0 | ・十分に管理しています。 | ・個人情報保護に万全を期します。 |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | 0 | ・様々な工夫しています。 | ・より一層、意思疎通に努めます。 |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 4 | 0 | ・地域住人は気軽に来れるように企画したいです。 | ・安全に配慮しながら、地域住民との交流を図ってまいります。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | 0 | ・マニュアルや計画に沿って訓練を行っています。 | ・策定したマニュアルをもとに、訓練を行なっていきます。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | 0 | ・訓練を受けました。 | ・計画のもと、適切に訓練を行なっていきます。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 4 | 0 | ・医療情報を仕入れる機会あります。 | ・適切な情報を把握してまいります。 |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 0 | ・対象者いませんが、アレルギーに関する情報を管理しています。 | ・適切に対処できるようにしています。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | 0 | ・計画に沿って支援しています。 | ・計画に沿って、安全を確保しながら、適切に支援してまいります。 |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | 0 | ・取り組んでいます。 | ・家族と一層の連携を図ってまいります。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | 0 | ・様々な場面を想定して対策に取り組んでいます。 | ・様々な場面を想定したヒヤリハット集を活用してまいります。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 4 | 0 | ・研修などを実施しています。 | ・支援に役立ち、興味を持ってもらえる研修を企画します。 |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 4 | 0 | ・対象者いません。 | ・身体拘束は行いません。 | |